

打楽器界のノーベル賞といわれるホール・オブ・フェーム栄誉賞を、
世界で初めて受賞したマリimba演奏家。

安倍圭子 のマリimbaチャペルナイト
with 田代佳代子

MARIMBA

Chapel Night

神様からのメッセージ

Keiko Abe

with Kayoko Tashiro



2010年4月17日(土)
18:00開演 (17:30開場)

会場 / 西南学院大学チャペル 福岡市営地下鉄空港線「西新駅」
1番出口より徒歩5分
料金 / 一般 4,000円 小中高大生 3,000円 ※未就学児の入場はご遠慮願います。

出演 / 安倍圭子・田代佳代子・
Christopher Karl Hoefer (クリストファー・カール・ホーファー)・ホーファー田島由理
【演奏曲目】古代からの手紙 小品メドレー (フィドル・ファドル、勇氣ひとつを友にして 他) 森の会話 V

■主催 / 西南学院大学 ■共催 / 株式会社 アヴァンティ

■協賛 / ヤマハ株式会社・(株)ヤマハミュージック九州福岡店 ■後援 / 福岡県教育委員会・福岡市教育委員会・西日本新聞社・毎日新聞社・朝日新聞・読売新聞社・
日本経済新聞社・RKB毎日放送・FBS福岡放送・(株)TVQ九州放送・NHK福岡放送局・KBC九州朝日放送・TNCテレビ西日本・FM福岡・クロスFM

■チケット取扱い / ローソンチケット Lコード00000 (0570-084-008・http://www2.lawsonticket.com/) ○電子チケットびあ Pコード000-000
(0570-02-9999・http://t.pia.co.jp/kyushu/) ○FFACアートリエ ○ヤマハミュージック九州福岡店(天神) ○クレモナ楽器 ○イズタバイオリン ■問合せ
/ ○アヴァンティ編集部 TEL.092-724-3226 ○西南学院大学 キャンパスサポート西南 (092-823-3576) ○西南学院大学(栗原) TEL.080-3961-7654

九州・沖縄から

文化力
POWER OF
CULTURE

「黄金比率」の音響空間と評される、西南学院大学のチャペル。 今宵、この空間にマリмбаの優しい音色が響き渡る。

安倍圭子 (あべ けいこ)

演奏活動は世界50カ国に及ぶ、国際的マリмба演奏家。マリмбаの新たな奏法を次々と開拓しながら音楽表現の幅を広げ、数多くの作曲家への委嘱活動を実践すると同時に、自身のオリジナル作品も生み出すことにより、マリмбаを独奏楽器として確立させてきた。演奏の場は幅広く、ソリストとしてオーケストラや室内楽、打楽器合奏団やジャズ奏者との共演等、ジャンルを超えたユニークな活動が目目されている。強烈な集中力を持った自由自在な表現力は、芸術性の高い独自のマリмбаの世界を築き上げ、音楽史上に残るアーティストとして世界各地で絶賛され、確固たる評価と地位を得ている。文化庁芸術祭優秀賞6回受賞。1993年、アメリカにおいて国際打楽器芸術協会(PAS)より打楽器界のノーベル賞といわれるホール・オブ・フェーム栄誉賞を世界最初のマリмба演奏家として受賞。桐朋学園大学名誉教授、上海打楽器アソシエーション文化コンサルタント、名古屋音楽大学客員教授、大阪芸術大学大学院客員教授。元ユトリヒト音楽大学客員教授。世界初演を行った作品は自作品を含めて270曲以上、マスタークラスで指導した世界の音楽大学は90校以上に及ぶ。

主な活動 / 1981年より毎年欧米コンサート・ツアーを、1987年より国内コンサート・ツアーを行う。81年カーネギー大ホール、84年コンサートヘボン・ホール、90年シャウスピール・ハウスなどその他世界の著名なコンサートホールで演奏。

安倍圭子公式サイト <http://www.keiko-abe.com>



MARIMBA Chapel Night Keiko Abe with Kayoko Tashiro



田代佳代子 (たしろ かよこ)

桐朋学園大学音楽学部マリimba専攻卒業。同大学研究科修了。マリimbaを国際的マリimba奏者・安倍圭子氏に師事。東京での活動を経て、1990年地元福岡に戻り、マリimbaの普及活動に努める。現在、九州各地での演奏活動のほか、福岡天神・久留米・長崎にてマリimba教室を開講し、多くの生徒を育成。恩師安倍圭子氏を招いてコンサートを開催する等、九州のマリimba界に新風を吹き込み各メディアで取り上げられる。また、地方における家庭と音楽活動を両立させた新しいライフスタイルが人気女性ファッション誌でも取り上げられて話題となる。「九州マリimba合奏団2005」主宰。

田代佳代子公式サイト

<http://www.marimba-music.com>



Christopher Karl Hofer

(クリストファー・カール・ホーファー)

アメリカ、インディアナ州出身。IPFW音楽部打楽器専攻卒業後、ベルmont大学にて修士課程修了。2005～2006年、安倍圭子氏に師事するため桐朋学園大学に留学し、その間、上海、オーストラリアで国際コンペティションに参加。現在はルイジアナ州立大学、音楽芸術博士課程在学中。同時に、ルイジアナニューズパーカッションアンサンブルの指導者、ニューオーリンズディラード大学打楽器科で講師も務める。LSUパーカッショングループメンバー。これまでにブラハム・デンバー、クリストファー・ノートン、安倍圭子、プレット・ディーツの各氏に師事。



ホーファー田島由理

福岡県出身。2003年、桐朋学園大学音楽学部演奏科卒業。卒業後はソロ活動の他に、東京を拠点にフライマリimbaカルテットのメンバーとして寝食を共にしながら、小学校、イベント等全国を車1台で演奏活動開始。バレエ団、オーケストラ、マンドリン、ギターなどクラシックのジャンルを越え様々なアーティストと共演。2006年、オーストラリアでのリンツ国際コンペティションに参加。現在は活動の拠点をアメリカに移している。「九州マリimba合奏団2005」メンバー。これまでに打楽器を佐野恭一、田代佳代子、安倍圭子、ジャズピラフォンを赤松敏弘の各氏に師事。